

第1号議案

平成29年度事業報告書（案）

1 事業の成果

NPO 法人そばネット埼玉（以下「そばネット」という。）は、伝統食文化としての“手打ちそば”の健全なる普及・発展を目指した活動を展開しています。

29年度は、設立11年を経過して、主に既存事業の充実に力点を置きました。

① 手打ちそばの普及・啓発活動及び②手打ちそばを通じた食育活動を2本柱とし、①では、「全麺協素人そば打ち段位認定会」、「手打ちそばアカデミー in さいたま」、「手打ちそば指導者養成道場」を、さらに、多様性のあるそば打ちやそば料理などの普及のための事業を推進し、また、②では、「親子そば打ち体験教室」を“基幹事業”として位置づけて積極的に展開をしてきました。

さらに、そばネットは手打ちそば愛好家の集団であり、会員相互の交流はそばネット発展のために不可欠であり、創立5周年を機に開催した「会員対抗そば打ち選手権大会」も8回目となり大いに盛り上がりました。

①の事業として、第13回目となる「2018全麺協素人そば打ち段位埼玉認定会（初段・二段）」を開催したところ、初段については61人の応募があり、金、土と2日間に分けて実施し、合計61人全員が合格しました。

二段は51人受験で47人が合格となりました。

さらに、10回目となる「2018全麺協素人そば打ち段位埼玉認定会（三段）」を開催し92人受験して50人の合格でした。

やはり、今年度も、特筆すべきは、応募者の年齢構成であり、平均年齢は一昨年まで初段、二段、三段すべてで60歳を超えていましたが、今年の初段は高校生が6人受験し、最高齢は81歳で正しく手打ちそばは老若男女誰でも楽しめることとなっています。

二段は平均年齢62歳、最高齢は83歳、三段は、平均年齢64.3歳、最高齢は79歳でありました。

そばネットとしては、今後とも、老若男女、幅広い年齢層を対象に普及を広めていくことに加えて、これらの高齢の人たちが“手打ちそば”を通じて健康を維持し、仲間づくりなど、生き生きとした人生を謳歌できるための施策も展開していくこととします。



一月十三日初段の部の審査風景

「手打ちそばアカデミーin さいたま」は、第 32 回（8 月 22 日）に群馬県高崎市で「そば処おおの」を開業して、多彩な変わりそばを提供している大野誠一氏を講師として迎え、変わりそばの楽しさ、打ち方をご指導いただきました。

第 33 回（9 月 9 日）は翌日開催される「シニア達人大会」の準備終了後に、シニア達人出場者も交え、指導者養成道場講師指導による「そば打ち技術交流会」を開催しました。

第 34 回（10 月 1 日）は、2007 年の第 3 回アカデミーで講師を務めていただいた東京本陣房グループ総帥 山本育磨氏を再度招聘し、「そば打ちの基本技術」として講演及び実技指導を受けました。

当日は 120 名の受講者で熱気あふれる講座となりました。



講演・実演後に山本講師から個別指導を受ける受講生

11 年目を迎えた「手打ちそば指導者養成道場」は、全麺協認証道場として位置づけられ、受講生の数も増加し、土・木の 2 コースで、延べ 195 人（前年度 161 人）が受講しました。

この講座は、手打ちそばの指導者として期待される全麺協三段位以上の合格者を目指す方も多く、今年度、受講生から三段は 7 人合格、四段は 8 人、五段が 2 人合格しました。

手打ちそばの楽しさ、素晴らしさを伝え、広めていくには“良き指導者”が必要であり、さらに、全麺協の認証そば道場となったこともあり、今後とも、手打ちそばの知識・技術を普及できる指導者を育成していきたい。

5 回目となった「全日本創作そば料理コンテスト」は平成 30 年 2 月 12 日に開催し、24 品目 24 人の応募があり、下記の結果となった。

特に、今回も群馬県立安中総合学園高校の生徒が 7 人応募いただき、老若男女が熱のこもったコンテストになりました。

「和食」がユネスコの無形文化遺産として登録され、「そば食文化」のますますの発展を目指して今後も開催していきたい。

第5回全日本創作そば料理コンテスト入賞者			
賞	料理名	出品者	住所地
そば料理一般の部 (9 出品)			
金賞	しなののきのこそばクリーム仕立て	大池 久男	小諸市
銀賞	和っ！ヘルシーそばドリア	鈴木 洋子	野田市
銅賞	三色更科そばの袱紗包み	柴田 好枝	宇都宮市
優秀賞	子供のおやつパリパリそば	菊地 幸子	宇都宮市
優秀賞	そば粉を使った春巻き&お煎餅	小林 秀美	白岡市
そばスイーツの部 (13 出品)			
金賞	韃靼そばクッキー	富山 守	那須塩原市
銀賞	切りそばのキャロットケーキ	塩田 多賀子	さいたま市
銅賞	さらしなの丘	柴崎 友子	久喜市
優秀賞	そばケーキ	稲熊 美幸	安中市
優秀賞	2色ロールケーキ	猿谷 葉月	安中市
そば酒肴の部 (2 出品)			
金賞	変わり揚げそば	島崎 朝美	茂原市
銀賞	そばピザ アラカルト	大池 喜美子	小諸市

「第1回全日本シニアそば打ち達人会」

過去3回の「全日本シニアそば打ち選手権大会」の成功を基に、シニアそば打ち全国大会の殿堂となるよう「達人大会」として再出発しました。

北は福島県から南は広島まで文字通りの全国大会となって定員48名を大きく上回る57人が円熟した手打ち技を競い合いました。

今後、ますます高齢社会となっていく日本が活力を維持するためにも、このような大会は大きな効果をもたらすものであり、発展継続をしていきたい。

平成29年9月10日(土) 埼玉県県民活動総合センター

シニアの部 (70~74歳) 34人出場

達人	仁井谷 芳明	広島県尾道市	広島備後そばの会
準達人	大塚 康子	埼玉県杉戸町	杉戸麺打愛好会小川道場
	尾林 武雄	栃木県宇都宮市	栃木のうまい蕎麦を食べる会
敢闘賞	堀 栄次	千葉県千葉市	千葉県そば推進協議会
	松本 福子	埼玉県熊谷市	NPO法人熊谷そば打ち会

グランド・シニアの部 (75歳以上) 23人出場

達人	小川 伊七	埼玉県杉戸町	杉戸麺打愛好会小川道場
準達人	萩野谷 廣治	栃木県真岡市	栃木のうまい蕎麦を食べる会
	関 信雄	埼玉県久喜市	杉戸麺打愛好会小川道場
敢闘賞	入田 勝	埼玉県深谷市	NPO法人熊谷そば打ち会
	岩本 シナ子	栃木県宇都宮市	とちぎ蕎和会
	國分 圭	埼玉県上尾市	上尾手打ちそば研究会

正しく達人同士の熱
戦が繰り広げられま
した。



第1回全日本さらしなそば打ち名人大会の開催【新規事業】

「手打ちそば」は、そば粉の種別、地域性など長い歴史の中で、多様な打ち方、食し方が受け継がれてきており、私たち手打ちそば愛好家にとっても楽しみ方は限りなく広く、奥行き深いものとなっている。

「優雅で高度の技術を要するさらしなそばを広く普及させるため、全国規模の大会に発展させる。」ことを目指して、第1回大会を開催しました。

開催日 平成29年4月2日（日）

会場 幸手市北公民館

大会の内容 さらしな外二の部及びさらしな変わりそばの部

さらしな外二の部 出場者 21名

名人	高橋光一	埼玉県加須市	彩蕎一門会
準名人	廣木和美	栃木県上三川町町	蕎遊庵 蕎麦打ち教室
準名人	関 信雄	埼玉県久喜市	杉戸麵打愛好会小川道場
敢闘賞	小林秀美	埼玉県白岡市	杉戸麵打愛好会小川道場

変わりそばの部 出場者 18名

名人	和田 勇	埼玉県加須市	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会
準名人	廣木和美	栃木県上三川町町	蕎遊庵 蕎麦打ち教室
準名人	川鍋敏雄	茨城県古河市	そば塾元右エ門
敢闘賞	土屋照雄	千葉県千葉市	江戸流手打ち蕎麦 二八の会



変わりそばの部では、創作力の高い内容で審査員はもとより見学者も目を見張っていました。

会員相互の交流を活発化するための「第8回会員対抗そば打ち選手権大会（ペア・団体・個人）」を開催しました。

今回も、ペア、団体は24日、個人は翌25日に開催しましたが、ペアは12組、団体は20チーム、個人は46人と過去最大となった出場者と応援者で大いに盛り上がり、NPO法人そばネット埼玉29年度事業のフィナーレを飾ることができました。

第8回会員対抗選手権大会 平成30年3月24日（土）

ペアの部 出場者12組24人
受賞者

ゼッケン	出場者	賞の名称
1	斉藤勲 高柳純子	ベスト連携賞
2	野川好廣 野川いね子	ビューティフルシニア賞
3	上石良雄 上石ヒサ子	うらやましさを喝采賞
4	新寄照幸 遠藤久子	ベストコンビ賞
5	本間昇 福田和子	息ぴったり賞
6	上原文吾 太田弘子	リード&フォロワー賞
7	石川利行 荒井キヨ子	ベストパフォーマンス賞
8	林久晴 岩崎よし子	こもれび発信賞
9	桑子正勝 浜崎正子	ユーモア賞
10	小林浩 米谷眞由美	ベストバランス賞
11	佐藤勝雄 茂呂俊子	師弟愛賞
12	鳥海修一 福島雅子	スマートペア賞

団体の部 出場 20チーム

優 勝	彩蕎一門会 米田薫・金子明宏・宮永三喜男
準優勝	さいたま蕎麦打ち倶楽部 入尚志・萩原敏彦・北脇将史
第3位	せいち庵そば打ち倶楽部 福田茂・高鳥薫・八下田聡
B・B賞	圏央手打そばクラブ2 朝比奈厚・三村作治・岡野義雄

個人の部 出場者47人 平成30年3月25日（日）

優 勝	柴 崎 友 子	杉戸麵打愛好会小川道場
準優勝	金 子 明 宏	彩蕎一門会
第3位	荒 井 キ ヨ 子	下野そばの会

優秀賞	小林 秀美	杉戸麺打愛好会小川道場
	田村 加代子	せいち庵そば打ち倶楽部
	長崎 幸村	個人 (いばらき蕎麦の会)



団体の部で見事優勝された「彩蕎一門会」は優勝杯(持ち回り)を授与されて喜びのメンバー。来年、この優勝杯はいずれのチームに？

埼玉県県民活動総合センターを運営する公益財団法人いきいき埼玉が主催する生活趣味講座で「本格そば打ち講座」の運営を受託しました。

開催日：平成 29 年 11 月 24 日 (金)、12 月 1 日 (金)、12 月 22 日 (金)

会 場：埼玉県県民活動総合センター料理研修室

対 象：一般県民 午前、午後各 12 人

② の事業として 多くの親子が、そば打ち体験を通して、手作りの料理の美味しさ、楽しさ、さらに親子の共同作業の大切さを実感して、双方から心温まる感想文をいただいた。

今後も食育に関する事業を推進することとしたい。

親子そば打ち体験教室

日時 平成 29 年 4 月 16 日 (日) 9 : 00 ~ 15 : 00

会場：埼玉県県民活動総合センター料理研修室

人員：17 組 (子 24、親 30)

③ そば粉等の販売

上記の事業を推進するに当たり、そば粉等材料の販売を行った。

以上、主な事業の成果により、会員数も下表のとおり増加してきたが、伝統食文化としての“手打ちそば”の健全なる普及・発展に向けて、今後とも魅力ある事業の実施に努め、ネットワークを広げていきたい。

	団体会員	個人会員	賛助会員	合計
設立時	3	20	0	23
平成 17 年度末	3	36	3	42
平成 18 年度末	10	69	5	84
平成 19 年度末	12	88	6	106
平成 20 年度末	14	103	10	127
平成 21 年度末	17	133	10	160
平成 22 年度末	21	141	6	168
平成 23 年度末	24	130	6	160
平成 24 年度末	26	138	5	169
平成 25 年度末	29	132	5	166
平成 26 年度末	32	180	9	221
平成 27 年度末	35	191	7	233
平成 28 年度末	41	184	7	232
平成 29 年度末	44	162	7	213
増減	3	△22	0	△19

2 その他

(1) 役員会の開催

事業実施を計画的かつ円滑に運営するため、役員会を下記のとおり開催しました。

第 136 回～146 回で計 11 回（1 月は大雪で中止）、いずれも会場はそばネットの事務所（さいたま市）でした。

全て、ホームページに議事概要を掲載しています。

(2) 評議員会の開催

そばネットの団体間の連携を密にするため、団体正会員を評議員として年 1 回評議員会を開催しており、今年度は下記の通り開催しました。

開催結果概要はメールで全会員に報告しています。

第 6 回

開催日 平成 30 年 2 月 5 日（月）

会場 かのうや（大宮区）2 階会議室

出席者数 評議員、理事、併せて 4 5 名

主な議題

- 1 手打ちそば文化友好交流団体 第 1 回交流大会について（別添 1）
- 2 役員選出方法検討委員会の検討概要について

- (評議員会の直前に開催されたことから、小山委員長の口頭報告によるもので、後日取りまとめた答申を理事会に報告することになった。)
- 3 手打ちそば指導者養成一日講座について (別添 2)
 - 4 29年度、30年度開催予定の主な事業について
 - ① 第8回会員対抗そば打ち選手権大会
3月24～25日(日) 埼玉県県民活動総合センター
申込締め切り 2月16日(金)
 - ② 第2回全日本さらしなそば打ち名人大会 (別添 3)
 - ③ 第2回全日本シニアそば打ち達人大会
9月9日(日) 埼玉県県民活動総合センター
 - ④ 2019全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会 (初二段)
平成31年1月12日～13日(日) 埼玉県県民活動総合センター
 - ⑤ 2019全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会 (三段)
平成31年3月2～3日(日) 埼玉県県民活動総合センター
 - 5 要望事項・意見交換会
 - 6 その他

(3) 役員選出方法検討委員会の設置、開催

役員を選出は、定款の定めにより理事会が総会に候補者を提案して可決されて就任することになっているが、理事会の提案する候補者の選考方法が明文化されていない。

会員から見て、透明性・公平性のある選出方法について検討する委員会を設置して委員会を開催し、検討結果の結果が理事会に提出された。

NPO法人そばネット埼玉役員選出方法検討委員				
	氏名	所属	所属所在県	摘要
理事選出	小山 周三	埼玉西部蕎麦打ち連合会	埼玉県	議長
	田中 浩三	さいたま蕎麦打ち倶楽部	埼玉県	創立団体代表
	小島 潔	杉戸麵打愛好会小川道場	埼玉県	
	田中憲一	久喜そば倶楽部	埼玉県	
	上田 秀雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部	埼玉県	事務局長
評議員選出 公募	浅見 周司	つくば蕎麦愛好会	茨城県	副議長
	小森 康弘	とちぎ蕎和会	栃木県	
	林 久晴	こもれび蕎麦の会	千葉県	
	城 幸夫	いるま蕎麦打ち倶楽部	東京都	
	上石 良雄	秩父そば打ち倶楽部 蕎楽館	埼玉県	

第1回委員会 平成29年12月18日(月)

第2回委員会 平成30年2月5日(月)

2回の委員会の結果、2月26日に下記の答申が提出された。

これを受けて理事会で選出方法の具体案を作成し、評議員会の意見を踏まえて、平成31年5月の役員改選に適用するよう努めることとした。

NPO法人そばネット埼玉
代表理事
阿部成男様

平成30年2月26日

役員選出検討委員会
委員長 小山周三

答申書

役員選出方法検討委員会を2回にわたって開催し、NPO法人の活動状況および事業運営への役員会の関わり方等を考察、検討した結果、以下のような選出方法の透明化が必要との総意を得たので答申します。

記

1. 本委員会の設置目的

- ・会員に対して開かれ、透明度の高い役員選出方法の検討
- ・法人設立後の活動の拡がり（広域連合体としてのNPO）と今後の法人の円滑な運営体制に配慮した検討を行った。

2. 役員候補者の選出にあたっての基本的な考え方

(1) 基本的な考え方

- ・構成会員の現状（所属団体の会員数、地域分布等）への配慮
- ・事業実施への適切な対応と会員団体の協力体制の確保
- ・識見・経験等
- ・毎月開催理事会（さいたま新都心、夜間）への出席が可能なこと

(2) 役員構成について

- ・理事・監事を合わせた役員22名（理事20名、監事2名）の枠は定款の定めにより、現行通りの枠組みとする。
- ・法人設立時の母体団体であった、「さいたま蕎麦打ち倶楽部(10名)」「分桜流・彩次郎麦打ち会(3名)」「NPO法人 熊谷そば打ち会(2名)」の3団体から複数（合計15名）の役員が選出されている現状については、諸事業執行上の必要性を反映したもので、現状では役員構成のバランスを欠くとはみなし難い。
- ・理事の役割分担が明記されると、NPO法人事業活動の可視化につながる。
- ・所属会員の拡大化、地域的な広がりに対応した役員選出を考慮する。所属団体数、所属会員数などに配慮し、会員の声が広く公平に反映される選び方を採用する。

(3) 役員と事務局・執行体制との兼務について

- ・理事20名のうち、10名が「さいたま蕎麦打ち倶楽部」より選出されている。しかしながら、その内の4名が事務局・事業執行業務（総務、事業、経理、その他）に関わっており、代表理事を含めると5人が、事業執行に必要な職務を担っている。
- ・専任事務局を持たないNPO法人を円滑に運営するうえで、理事と事務局との兼務体制は合理的な運営体制とみなすことができるので、今後は「執行理事制」などの導入を検討する必要がある。

3. 役員候補選出の手続きについて

- ・本答申内容を参考にした「役員候補者選出基準（もしくは規定、要項）」をつくり、この基準に基づいた役員候補選出を理事会で行うことにより、透明度の高い選出方法が可能になる。
- ・役員を選出は総会の審議・議決事項であるが、総会前の評議員会で候補者選出に係る理事会の基本的な考え方を説明し、予め会員の周知をはかることも、役員選出の透明化につながると考えられる。

4. 付議事項

- ・NPO法人そばネット埼玉の事業活動、組織運営、理事の役割等に関する情報の公開性に努める。
- ・団体会員の事業運営への参加・分担・協力体制の構築に努める。事業運営分担ではリーダー役への参加を推進し、さいたま蕎麦打ち倶楽部の負担軽減を図ることに努力する。
- ・評議員会の積極的な活用
- ・広域連合体に適合した組織運営体制づくり
- ・法人の事業活動が分担できるだけの実力を会員団体が磨く必要がある
- ・新任役員のお公募・届け出制については今後の検討課題
- ・評議員会の名称変更（評議会等の名称）も検討課題

平成29年度 NPOそばネット埼玉 収支報告書(案)

平成29年4月1日から平成30年3月31日

I 収入の部

(単位:円)

勘定科目			平成29年度	平成29年度	差額	付 記
大科目	中科目	小科目	予算額	決算額		
1 会費収入						※1
団体会員会費			440,000	440,000	0	44団体
個人会員会費			340,000	324,000	16,000	162名
賛助会員会費			50,000	45,000	5,000	7団体
全種協会費			520,000	510,000	10,000	255名
会費収入計			1,350,000	1,319,000	31,000	
2 事業収入						
手打ちそば普及・啓蒙活動事業収入	總會収入		0	0	0	
	素人そば打ち段位認定大会	初・二段位	870,000	846,720	23,280	受験者(初段61・二段51) 出店料
		三段位	960,000	964,520	-4,520	受験者92 出店料
		四段位	0	0	0	
		小計	1,830,000	1,811,240	18,760	
	手打ちそばアカデミー		240,000	245,000	-5,000	参加者224名 (32回45 33回74 34回105)
	そば打ち指導者養成道場		4,000,000	4,688,000	-688,000	受講者195名 (I期46 II期53 III期49 IV期47) 追加受講料
	会員対抗選手権大会		492,000	544,260	-52,260	ペア12 団体20 個人46 交流会費 宿泊費 出店料
	そば料理コンテスト		190,000	48,000	142,000	出品24
	県活イベント		150,000	239,080	-89,080	フェスティバル/もりそば218食 教室/報酬・食材費
	全日本シニアそば打ち達人大会		560,000	691,630	-131,630	参加者57名 交流会・宿泊費 弁当代 出店料
	全日本さらしなそば打ち名人大会		98,000	129,800	-31,800	交流会費等
	全種協東日本支部会員そば打ち交流会		560,000	602,660	-42,660	参加団体12 交流会費 宿泊費 出店料
	そば粉等の販売		5,200,000	6,550,834	-1,350,834	各事業練習用粉販売 会員販売等
	道具等の販売		60,000	225,000	-165,000	ポロシャツ スタンドカラーシャツ 前掛等
図書等の販売		15,000	30,960	-15,960	単位手帳34 教本4	
DVD等の販売		0	68,000	-68,000	DVD(34回アカデミー講演)68	
計			13,395,000	15,874,464	-2,479,464	
手打ちそばを通じた食育活動収入	子供そば打ち体験教室		0	0	0	
	親子そば打ち体験教室		42,000	42,000	0	参加者(子24 親30)
計			42,000	42,000	0	
事業収入計			13,437,000	15,916,464	-2,479,464	
3 助成金収入			30,000	54,238	-24,238	全種協(親子そば打ち教室30,000) 東日本支部(交流会24,238)
4 寄付金収入			0	0	0	
5 繰入金			130,000	269,299	-139,299	廃棄物処理料負担金 コッパ倉庫賃料 道場電話料 印刷代
6 雑収入			1,000	28,445	-27,445	印刷代 預金利息
当期収入合計 (A)			14,948,000	17,587,446	-2,639,446	
前期繰越収支差額 (B)			2,419,342	2,419,342	0	
収入合計 (C)=(A)+(B)			17,367,342	20,006,788	-2,639,446	

II 支出の部

(単位:円)

勘定科目			平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	差額	付 記
大科目	中科目	小科目				
1 事業費						※2
手打ちそば普及・啓 発活動事業支出	総会費		14,000	7,334	6,666	会議室利用料 飲料費等
	素人そば打ち段位認定大会	初・二段位	460,000	721,616	-261,616	県活施設利用料(3日) 道具賃借料 審査員交通費・報酬 弁当 宿泊費等
		三段位	670,000	700,534	-30,534	県活施設利用料(2.5日) 道具賃借料 審査員交通費・報酬 宿泊費等
		四段位	0	0	0	
		小計	1,130,000	1,422,150	-292,150	
	手打ちそばアカデミー		320,000	282,014	37,986	講演報酬・交通費 県活施設利用料 道具賃借料等
	そば打ち指導者養成道場		1,120,000	1,122,378	-2,378	講師旅費交通費(登録者17名) 新テキスト作成費等
	会員対抗選手権大会		338,000	635,313	-297,313	賞品・参加費代 県活施設利用料 道具賃借料等
	そば料理コンテスト		200,000	169,837	30,163	県活施設利用料 審査員報酬・交通費 賞品・参加費代等
	県活イベント		100,000	209,223	-109,223	フェスティバル・教室(3回)(道具賃借料 交通費等)
	全日本シニアそば打ち達人大会		550,000	731,957	-181,957	審査員報酬・交通費 参加費(記念前掛) 県活施設利用料 道具賃借料等
	全日本さらしなそば打ち名人大会		298,000	237,258	60,742	審査員報酬・交通費 賞品・参加費 弁当 公民館使用料 道具賃借料等
	全麺協東日本支部会員そば打ち交流会		500,000	603,488	-103,488	県活施設利用料 審査員交通費 道具賃借料 交流会費 宿泊費等
	そば粉等の仕入費		5,490,000	6,862,500	-1,372,500	そば粉(6862k) 更科(82k) 中力粉(1442k) 打粉(1846k)
	道具等の仕入費		16,000	286,200	-270,200	ポロシャツ スタンドカラーシャツ 前掛等
図書等の仕入費		15,000	22,400	-7,400	蕎麦春秋年間契約 単位手帳20冊	
DVD等の仕入費		0	100,008	-100,008	DVD製作費	
計		10,091,000	12,692,060	-2,601,060		
手打ちそばを通じた 食育活動支出	子供そば打ち体験教室		0	0	0	
	親子そば打ち体験教室		52,000	57,169	-5,169	道具賃借料 材料費 スタッフ交通費 県活施設利用料等
	計		52,000	57,169	-5,169	
	4団体交流大会		0	0	0	
事業費計		10,143,000	12,749,229	-2,606,229		
2 管理費						
事務所賃借料		386,000	553,964	-167,964		
旅費交通費		600,000	584,688	15,312	役員旅費交通費上期・下期分 役員選出委員会等	
光熱水費		65,000	72,940	-7,940		
廃棄物処理料		91,000	90,720	280		
備品費		0	0	0		
消耗品費		550,000	708,577	-158,577	プリンター(リース・使用料 トナー・インク代) 道場雑費 Dropbox使用料等	
手数料		65,000	44,388	20,612	ビジネスダイレクト手数料 口座振込手数料	
通信費		260,000	224,202	35,798	固定電話・携帯・FAX回線利用料	
税理士報酬		186,000	185,801	199		
保険料		18,000	23,400	-5,400	団体傷害保険料	
日当		1,400,000	1,565,840	-165,840	事務局員4	
会議費		80,000	135,281	-55,281	4団体交流会議 理事選出方法委員会費 評議員交流会費 役員会費等	
管理費計		3,701,000	4,189,801	-488,801		
3 負担金等						
全麺協会費		535,000	525,000	10,000	29年度分(団体会員費 個人会員費255名)	
アジア麻薬・貧困撲滅協会会費		15,000	0	15,000		
商店会会費		61,000	61,000	0	29年度分(商店会費) ツールドフランス法人サポーター費	
負担金計		611,000	586,000	25,000		
4 交際費		20,000	0	20,000		
5 租税公課						
法人税		0	0	0	28年度分	
法人県民税		20,000	20,000	0	28年度分	
法人市民税		50,000	50,000	0	28年度分	
消費税		0	-106,915	106,915	28年度還付金	
源泉所得税		60,000	66,472	-6,472	28年度還付金 審査員報酬 講演者報酬 税理士報酬	
租税公課計		130,000	29,557	100,443		
6 返還金		0	0	0		
7 予備費		2,762,342	0	2,762,342		
当期支出合計	(D)	17,367,342	17,554,587	-187,245		
当期収支差額	(E)=(A)-(D)	0	32,859	-32,859		
次期繰越収支差額	(F)=(C)-(D)	0	2,452,201	-2,452,201		
支出合計	(D)+(F)	17,367,342	20,006,788	-2,639,446		

F=現在残高

平成 29 年度
NPO 法人そばネット埼玉 監査報告書

平成 30 年 5 月 9 日、代表理事から提出された収支決算書、諸帳簿、
関係書類を監査しましたところ、全て適正に執行されているものと認め
られましたことを報告します。

平成 30 年 5 月 9 日

監事 川島源比古 

監事 鈴木幹男 

第 3 号議案

役員改選の件

監事 川 島 源比古の辞任に伴い、監事として下記の者を推挙する。ただし、任期は川島源比古の残存期間とする。

監事 小 森 康 弘 とちぎ蕎和会

平成30年度事業計画（案）

1 事業実施方針

NPO法人そばネット埼玉（以下「そばネット」という。）は、日本の伝統食文化の代表格ともいえる“手打ちそば”の普及・啓発のための事業を引き続き積極的に推進していきます。

特に、「和食」がユネスコの世界文化遺産に登録されたこともあり、段位認定会や手打ちそばアカデミー、手打ちそば指導者養成道場などの主要事業に加えて、「そば」をより身近な、かつ健康的な食材として広めていくための活動も展開し、日本の食文化向上に貢献することとします。

さらに、団体正会員が過去最大となるなど“緩やかな連合体”としての要となる「そばネット会員の交流」を積極的に推進してまいります。

2 実施事業

1) 手打ちそばの普及・啓発事業

伝統食文化としての“手打ちそば”の健全なる発展を目指して、そばネットは、広範に且つ、きめ細かい事業を展開していきます。

① 第13回通常総会

実施時期：平成30年5月20日（日）

会 場：市民会館おおみや 第4、第5集会室

② 2019全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会（初段・二段）の開催

14回目となる段位認定会（初段・二段）を開催します。

実施時期：平成31年1月11日（金）12日（土）13日（日）

会 場：埼玉県県民活動総合センター

③ 2019全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会（三段）の開催

10回目となる段位認定会（三段）を開催します。

実施時期：平成31年3月2日（土）3日（日）

会 場：埼玉県県民活動総合センター

※ ②③は全麵協から開催承認を受けることで実施となる。

④ 「手打ちそばアカデミーin さいたま」の開催

年度当初から具体的計画を作成し、会員がそばに関する幅広い知識を習得し、手打ちそばの普及活動に生かせるよう積極的に開催していきます。

第35回 学術系

実施時期：平成30年5月6日（日）

「手打ちそば指導者養成一日講座」

講師 西武文理大学名誉教授 小山周三氏ほか

埼玉県県民活動総合センター

- ・ 第 36 回 技術系
そば打ち技術交流会
実施時期：平成 30 年 9 月 8 日（土）
会 場：埼玉県県民活動総合センター
 - ・ 第 37 回 学術系
実施時期：平成 30 年 11 月
会 場：未定
 - ・ 第 38 回 技術系
実施時期：平成 31 年 2 月予定
会 場：未定
- ⑤ 「手打ちそば指導者養成道場」の開催
手打ちそばの普及に不可欠な“指導者”の養成を昨年度に引き続き実施します。
実施内容：1 期 6 回（3 ヶ月）、土・木 2 コースで 4 期実施する。
対象者：そばネット会員（団体・個人）でそば打ち教室等の指導者を
目指す者
実施時期：年間
会 場：そばネット埼玉そば打ち道場
- ⑥ 第 2 回全日本さらしなそば打ち名人大会の開催
第 1 回は 29 年 4 月に幸手市で開催したが、桜まつりに合わせて開催するのは交通や会場確保等でのリスクもあり、継続発展させていく事業として、比較的そば関連のイベントが少ない時期及び使用勝手の良い会場で開催することとした。
開催日：平成 30 年 6 月 24 日（日）
会 場：埼玉県県民活動総合センター
内 容：さらしな外二の部 さらしな変わりそばの部
- ⑦ 第 2 回全日本シニアそば打ち達人大会の開催
そば打ちに円熟さが増し、熟達者となる元気なシニアの大会を開催する。
開催日：平成 30 年 9 月 9 日（日）
会 場：埼玉県県民活動総合センター
シ ニ ア の 部：70 歳～74 歳
グランドシニアの部：75 歳～

⑧ 第6回全日本創作そば料理コンテストの開催

手打ちそば愛好家だけでなく、「そば」が身近な料理として、多くの人々に愛される食材として利用されることを目指して、全国に発信するそば料理コンテストを開催する。

開催日：平成31年2月11日（月）

会場：埼玉県県民活動総合センター

対象：全国（外国も可）、プロ・アマを問わず

2) 手打ちそばを通じた食育事業

未来を担う子供たちに、手打ちそばを通じて“食の大切さ”“手作りの食の楽しさ”を伝える事業を展開する。

親子そば打ち体験教室の開催

親と子が一緒に体験し、共に“手作りの食の楽しさ”を実感する教室を開催する。

開催日：平成30年4月14日（土）

会場：埼玉県県民活動総合センター

対象：さいたま市内の小学生親子 16組 42人

3) 手打ちそば愛好家・団体間の交流・情報交換

第9回会員対抗そば打ち交流大会の開催

会員の技術向上と交流推進のため、団体・ペア・個人戦を実施する。

開催日：平成31年3月23日（土）～24日（日）

会場：埼玉県県民活動総合センター

4) 他団体との友好交流協定、交流事業の推進

設立10周年を機に、そば食文化友好交流を広く推進するため、近隣の広域そば関連団体（群馬奥利根連合そば会、千葉県そば推進協議会、千葉手打ち蕎麦の会）との交流を促進を図るため、平成28年3月26日に友好交流協定を締結し、昨年度4団体役員連絡会議を開催した。

その結果、4団体合流のそば打ち交流会をNPO法人そばネット埼玉が主管して下記のとおり開催することとなった。

今後4団体が持ち回りで開催することとなる。

開催日 平成30年6月30日（土）～7月1日（日）

会場 埼玉県県民活動総合センター

※ 開催要項は全会員に配布済み

5) その他

① そばネット埼玉の理事・監事の選出方法について、透明性の確保を図るため平成29年6月に「役員選出方法検討委員会」を設置して2回にわたっ

て検討委員会を開催した。

その答申を踏まえて、理事会は、評議員会の意見を参考にして、次期役員改選に導入できるよう役員選出方法を決定する。

- ② ホームページによる会員への情報提供
そばネットの事業はもとより全麵協や他のそば関連団体のイベント情報などをきめ細かく掲載する。
- ③ インターネットメールによる情報の相互交流
必要な会員への情報はメールにより迅速に提供するとともに、NPO法人そばネット埼玉の事業活動等への意見を受ける。
- ④ 役員会の開催
事業を円滑に推進するため、原則月1回の役員会を開催する。
- ⑤ 評議員会の開催
団体正会員を評議員と位置付け、団体間の連携を密にするため評議員会議を開催したが、今年度も最低年1回は開催する。

平成30年度 NPOそばネット埼玉 収支予算(案)

平成30年4月1日から平成31年3月31日

I 収入の部

(単位:円)

勘定科目			平成30年度	平成29年度	差額	付 記
大科目	中科目	小科目	予算額	決算額		
1 会費収入						
団体会員会費			480,000	440,000	40,000	48団体
個人会員会費			340,000	328,000	12,000	170人
賛助会員会費			35,000	45,000	-10,000	7団体
全麵協会費			520,000	506,000	14,000	260人
会費収入計			1,375,000	1,319,000	56,000	
2 事業収入						
手打ちそば普及・啓発活動事業収入			0	0	0	
総会収入			0	0	0	
素人そば打ち段位認定大会						
初・二段位			900,000	846,720	53,280	初段60人二段60人
三段位			960,000	964,520	-4,520	受験者96人
四段位			0	0	0	
小計			1,860,000	1,811,240	48,760	
手打ちそばアカデミー			400,000	245,000	155,000	4回(50人/期)
そば打ち指導者養成道場			5,472,000	4,688,000	784,000	4期(57人/期)6回/月
会員対抗選手権大会			570,000	544,260	25,740	出場者78人(ペア12 団体20 個人46) 交流会費20人 宿泊費20人
そば料理コンテスト			48,000	48,000	0	出品24
県活イベント			305,000	239,080	65,920	フェスティバル/350食 教室(3日)/報償・食材費
全日本シニアそば打ち達人大会			660,000	691,630	-31,630	出場者60人 交流会20人 宿泊費20人
全日本さらしなそば打ち名人大会			240,000	129,800	110,200	出場者37人
全麵協東日本支部会員そば打ち交流会			0	602,660	-602,660	
4団体交流会			600,000	0	600,000	参加者80人(3,000円) 交流会40人 宿泊40人
そば粉等の販売			7,000,000	6,550,834	449,166	各事業練習用粉販売 会員販売
道具等の販売			200,000	225,000	-25,000	ポロシャツ スタンドカラーシャツ 前掛等
図書等の販売			25,000	30,960	-5,960	単位手帳50冊
DVD等の販売			80,000	68,000	12,000	DVD(アカデミー等)
計			17,460,000	15,874,464	1,585,536	
手打ちそばを通じた食育活動収入			0	0	0	
子供そば打ち体験教室			0	0	0	
親子そば打ち体験教室			35,000	42,000	-7,000	参加者(大人25人、子供20人)
計			35,000	42,000	-7,000	
事業収入計			17,495,000	15,916,464	1,578,536	
3 助成金収入			30,000	54,238	-24,238	全麵協(親子そば打ち教室30,000円)
4 寄付金収入			0	0	0	
5 繰入金			250,000	269,299	-19,299	廃棄物処理料負担金 コンテナ倉庫賃料 道場電話料 印刷代等
6 雑収入			10,000	28,445	-18,445	印刷代 預金利息
当期収入合計 (A)			19,160,000	17,587,446	1,572,554	
前期繰越収支差額 (B)			2,452,201	2,419,342	32,859	
収入合計 (C)=(A)+(B)			21,612,201	20,006,788	1,605,413	



特定非営利活動法人 そばネット埼玉

第 13 回通常総会

平成 30 年 5 月 20 日（日）

さいたま市市民会館おおみや第 4・5 集会室

次 第

開 会

代表理事挨拶

新規入会団体正会員紹介

議長選出

議事

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告（案） 1

第 2 号議案 平成 29 年度収支報告（案）・監査報告 10

第 3 号議案 役員改選（案） 13

第 4 号議案 平成 30 年度事業計画（案） 14

第 5 号議案 平成 30 年度収支予算（案） 18

総会終了

全麵協総会の報告

代表理事 阿 部 成 男

資料

団体正会員名簿 20

賛助会員名簿 21

閉会

第 13 回定時総会における代表理事挨拶骨子

- ・ 13 回目となる定時総会を多くの会員の皆さまと迎えることができ、大変感慨深いものがあります。
- ・ そばネット埼玉は、本日現在団体正会員数が 46、個人正会員数が 160 を超えるまでに成長しており、会員、役員の皆様のたゆまぬご努力のおかげと深く感謝しております。
- ・ そばネット埼玉は、日本の伝統食文化の代表ともいわれる「そば食文化」の継承・発展のため、さらにそば食文化を愛する「そば打ち愛好団体・個人」の「出会い・交流の場」を提供することを主な目的として設立されたものです。
- ・ そばネット埼玉は、会員団体・個人の自由な活動に干渉せず、会員のための多彩な事業を実施することによる「そば打ち技術の研鑽、知識の習得、そばの関わる情報の受発信、そして交流の場」を提供するもので、組織的には会員間の「ゆるやかな連合体」としております。
- ・ 一口に「日本のそば食文化」といっても、全国に広がるそば食文化は地域の特性に合わせた多種・多様な文化が受け継がれており一様ではないところが大きな特徴です。
- ・ 私たちはその多様性を理解し、尊重することが大切であり、そのことによってそば食文化の奥深さを知ることができるのではないのでしょうか。
- ・ そばネット埼玉は、会員の皆さまにとって、多様なそば食文化を理解し、継承発展させていくための「情報交流の場」としての役割も担うことが求められています。
- ・ そば食文化の継承・発展に寄与するといわれても、「私は“手打ちそば”が好きだけで、とてもそのような高尚な活動はできません。」とおっしゃる方が多いと思いますが、そば打ちが好きで、家族や友人と楽しく“打ち”、“食べ”、“語らい”それだけで、伝統食文化としての《手打ちそば》伝道師》と言えるのではないのでしょうか。
- ・ そばネット埼玉が、会員の皆さまにとって、多様で楽しい交流の場となることを役員を含めて皆様とともに引き続き尽力していきたいと思います。

平成 30 年 5 月 20 日

手打そば愛好団体（家）をネットで結ぶ
NPO 法人そばネット埼玉
代表理事 阿 部 成 男

II 支出の部

(単位:円)

勘定科目			平成30年度	平成29年度	差額	付 記	
大科目	中科目	小科目	予算額	決算額			
1 事業費							
手打ちそば普及・啓発活動事業支出	総会費		10,000	7,334	2,666	会議室利用料 飲料費等	
	素人そば打ち段位認定大会	初・二段位		700,000	721,616	-21,616	県活施設利用料(3日) 道具賃借料 審査員交通費・報酬 弁当 宿泊費等
		三段位		680,000	700,534	-20,534	県活施設利用料(2.5日) 道具賃借料 審査員交通費・報酬 弁当 宿泊費等
		四段位			0	0	
		小計		1,380,000	1,422,150	-42,150	
	手打ちそばアカデミー		280,000	282,014	-2,014	講演報酬・交通費 県活施設利用料 道具賃借料等	
	そば打ち指導者養成道場		1,260,000	1,122,378	137,622	講師旅費交通費(登録者17名) 新テキスト作成費等	
	会員対抗選手権大会		600,000	635,313	-35,313	賞品・参加賞代 県活施設利用料 道具賃借料等	
	そば料理コンテスト		130,000	169,837	-39,837	県活施設利用料 審査員報酬・交通費 賞品・参加賞代等	
	県活イベント		200,000	209,223	-9,223	フェスティバル・教室(3回)(道具賃借料 交通費等)	
	全日本シニアそば打ち達人大会		700,000	731,957	-31,957	審査員報酬・交通費 参加賞(記念前掛) 県活施設利用料 道具賃借料等	
	全日本さらしなそば打ち名人大会		450,000	237,258	212,742	審査員報酬・交通費 賞品・参加賞 弁当 県活施設利用料 道具賃借料等	
	全麵協東日本支部会員そば打ち交流会		0	603,488	-603,488		
	4団体交流会		480,000	0	480,000	県活施設利用料 交流会費40人 宿泊費40人等	
	そば粉等の仕入費		7,200,000	6,862,500	337,500	そば粉(7200k) 更科(120k) 中力粉(1500k) 打粉(2100k)	
	道具等の仕入費		80,000	286,200	-206,200	ボロシャツ スタンドカラーシャツ 前掛等	
図書等の仕入費		27,400	22,400	5,000	蕎麦春秋年間契約 単位手帳50冊		
DVD等の仕入費		40,000	100,008	-60,008	DVD製作費		
計		12,837,400	12,692,060	145,340			
手打ちそばを通じた食育活動支出	子供そば打ち体験教室		0	0	0		
	親子そば打ち体験教室		48,261	57,169	-8,908	道具賃借料 材料費 スタッフ交通費 県活施設利用料等	
計		48,261	57,169	-8,908			
事業費計			14,275,661	12,749,229	1,526,432		
2 管理費							
事務所賃借料		533,000	553,964	-20,964	コンテナ倉庫賃借料,更新料含む		
旅費交通費		584,000	584,688	-688	役員旅費交通費(上期・下期)等		
光熱水費		75,000	72,940	2,060			
廃棄物処理料		90,720	90,720	0			
備品費		0	0	0			
消耗品費		640,000	708,577	-68,577	プリンター(リース料・使用料・トナー・インク代) 道場雑費 Dropbox使用料等		
手数料		45,000	44,388	612	ビジネスダイレクト手数料 口座振込手数料		
通信費		225,000	224,202	798	固定電話・携帯・FAX回線利用料		
税理士報酬		186,000	185,801	199			
保険料		24,000	23,400	600	団体傷害保険料		
日当		1,560,000	1,565,840	-5,840	事務局員4名		
会議費		85,000	135,281	-50,281	評議員会 役員会等		
管理費計		4,047,720	4,189,801	-142,081			
3 負担金等							
全麵協会費		535,000	525,000	10,000	30年度分(団体会員費15千円 個人会員費260名)		
アジア麻薬・貧困撲滅協会会費		30,000	0	30,000			
商店会会費		10,000	61,000	-51,000	30年度分(商店会費)		
負担金計		575,000	586,000	-11,000			
4 交際費							
		20,000	0	20,000			
5 租税公課							
法人税		0	0	0	29年度分		
法人県民税		20,000	20,000	0	29年度分		
法人市民税		50,000	50,000	0	29年度分		
消費税		0	-106,915	106,915	29年度分		
源泉所得税		66,000	66,472	-472	審査員報酬 講演者報酬 税理士報酬		
租税公課計		136,000	29,557	106,443			
6 返還金							
		0	0	0			
7 予備費							
		2,557,820	0	2,557,820			
当期支出合計	(D)	21,612,201	17,554,587	4,057,614			
当期収支差額	(E)=(A)-(D)	0	32,859	-32,859			
次期繰越収支差額	(F)=(C)-(D)	0	2,452,201	-2,452,201			
支出合計	(D)+(F)	21,612,201	20,006,788	1,605,413			

F=現在残高

NPO法人そばネット埼玉 団体正会員名簿

平成30年5月20

NO	団体名	代表者	〒	所在地
1	上尾手打ちそば研究会	川口 雄	362-0022	上尾市瓦葺1752-5
2	いるま蕎麦打ち倶楽部	城 幸夫	187-0045	東京都小平市学園西町1-17-1-526
3	浦和そば研究会	秋谷信一	330-0063	さいたま市浦和区高砂4-6-2
4	小山手打ちそばの会	武藤 光男	323-0007	小山市松沼518-8
5	北本蕎深会	深井 昭芳	364-0033	北本市本町7-49
6	清原手打ちそばの会	中田 隆人	321-3232	宇都宮市氷室町1041-123
7	久喜そば倶楽部	田中 憲一	340-0143	幸手市長間144番
8	NPO法人 熊谷そば打ち会	高橋 侑一	360-0037	熊谷市筑波1-49
9	圏央手打ちそばクラブ	樋口 正一	365-0024	鴻巣市常光1322
10	古河手打ち蕎麦の会	大島 實	306-0001	古河市静町38-2
11	小原田そば同好会	佐藤 信義	963-8835	郡山市小原田4丁目8-11
12	こもれび蕎麦の会	林 久晴	270-1144	我孫子市東我孫子2-7-15
13	彩蕎一門会	樽見 二三男	349-1111	久喜市北広島623-3
14	さいたま蕎麦打ち倶楽部	田中 浩三	331-0843	さいたま市大宮区吉敷町4-261-5
15	さの蕎麦の会	石川 明秀	327-0843	佐野市堀米町1322
16	下野そばの会	田部井 武	321-0932	宇都宮市平松本町286-3
17	16そばの会	酒巻 佳郎	365-0054	鴻巣市大間2-11-6
18	松愛会そば打ち倶楽部	鈴木 昭夫	329-1103	宇都宮市東岡本町742-195
19	信州小諸 峰の蕎麦会	大池 久男	384-0022	小諸市松井1-1-27番地
20	杉戸麵打愛好会小川道場	小川 伊七	345-0037	杉戸町本島619
21	せいち庵そば打ち倶楽部	生沼 聖司	306-0234	古河市上辺見651
22	西部蕎麦連	小山 周三	359-1101	所沢市北中4-356-10
23	蕎麦打ち塾 雲水	遠藤 芳孝	226-0005	横浜市緑区竹山2401-147
24	そば打ち道場 和楽	古川 モト子	337-0053	さいたま市見沼区大和田町1-1469-8
25	そば塾 彩蕎庵	安田 武司	339-0123	杉戸町宮前167-33
26	そば塾 元右エ門	谷嶋 公夫	306-0211	古河市葛生1713-2
27	蕎麦道楽 野田式八会	後藤 修一	278-0031	野田市中根19
28	蕎麦の会「みかど」	田中 益位	321-0203	壬生町幸町1-6-6
29	達磨工房秋そば倶楽部	富田 政博	361-0032	行田市佐間2-10-27
30	秩父そば打ち倶楽部 蕎楽館	上石 良雄	368-0031	秩父市上野町2番16号
31	つくば蕎麦愛好会	浅見 周司	305-0842	つくば市柳橋496 みずほの村市場内
32	土浦蕎麦同好会	新田 義和	300-0845	土浦市乙戸南3-16-31
33	恒持庵	坂本 始喜	368-0004	秩父市山田1633-2
34	東武そば打ち同好会	伊藤 敏一	345-0025	杉戸町清地2-10-7
35	所沢蕎麦打ち会	岸 正明	359-0021	所沢市東所沢3-19-4-303
36	常路麵打ち愛好会	新寄 照幸	359-1101	所沢市北中4-356-10
37	とちぎ蕎和会	小森 康弘	329-1104	宇都宮市下岡本町4525-2
38	取手そば愛好会	鈴木 寿雄	302-0023	取手市白山3-3-3
39	那須手打ち蕎麦倶楽部	中原 功詞	325-0001	那須郡那須町高久甲3004-11
40	日光落合手打ちそばの会	山田 芳子	321-1107	日光市小代289-160
41	野木手打ち蕎麦愛好会	町井 寛	329-0101	栃木県下都賀郡野木町友沼4645-47
42	美食そば打ち会	工藤 春男	350-2213	鶴ヶ島市脚折110-7
43	北彩蕎麦の会	川島 源比古	364-0006	北本市北本2-177-6
44	(有)森ファームサービス	森 雅美	330-0072	さいたま市浦和区領家7-4-5
45	領家そば愛好会	針谷 努	306-0128	古河市上片田420
46	分秘流・彩次郎蕎麦打ち会	渡部 隆夫	347-0063	加須市久下2-31-2

NPO法人そばネット埼玉 賛助会員名簿

2017.4.1

団体名	代表者	連絡者	〒	所在地	電話	FAX	営業内容
岡本木工所	岡本 繁樹		364-0005	埼玉県北本市本宿3-4-8	048-591-2309	048-591-8976	そば道具製造・販売
光工房	鈴木 正光		094-0015	北海道紋別市花園町7-6-4	01582-4-2763	049-297-5978	そば粉、そば道具販売
笹木醤油株式会社	笹木 弘治		350-0152	埼玉県比企郡川島町上伊草660	049-297-0041	049-297-5978	醤油製造販売
有限会社中村豊蔵商店	中村 要一		965-0003	福島県会津若松市一箕町八幡坂下甲1402	0242-22-1554	0242-24-4105	そば道具製造・販売
株式会社そばの坂本	坂本 勝之		074-0403	北海道札幌市南区石山612番地	0165-35-3211	0165-35-3212	そば栽培・製粉・販売
みなみ製粉株式会社	太田 道郎		005-0849	北海道札幌市南区石山612番地	011-591-1429	011-591-1522	そば粉等製粉・販売
株式会社セキカワ	関川 徳雄		959-1288	新潟県燕市燕3395-73	0256-62-5825	0256-624755	そば道具製造・販売

MEMO

NPO法人そばネット埼玉

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 4-261-5

TEL 048-644-4466

FAX 048-885-7757

URL <http://www.sobanetsaitama.com/>

E-mail nposobanet@gmail.com